

# アポロ新聞

## 今年の夏が待ち遠しい!!!

ホームガス課 森田 敏弘



昨年の夏、「保育園でカブトムシを飼っているのも欲しい!!」「保育園に持って行って友達と見せ合いっこしたい!!」と娘が言うので、会社の同僚にカブトムシのいる木がないかを聞き、捕まえるためにとある山へ30数年ぶりに行ってきました。日中、カブトムシは活動しないのでゴールデンタイムである夜の山に。

しかし、夜の山は怖いし、暑いし、ライトに向かって色んな虫が飛んでくるし、頭にクモの巣はつくし、樹液にはキモチ悪い虫がいっぱいいる…。もう泣きそうでしたが、娘の喜ぶ顔と保育園で友達に自慢している娘の顔を思い浮かべながら頑張った結果、クワガタの雄数匹とカブトムシ数匹ゲットすることができ、何とか父親としての仕事を完了させ、ひと夏、娘とカブトムシの飼育をしました。

最初のころは、餌やりや触りたいと興味津々だった娘も、夏の終わりと共にだんだんと興味がなくなってきて、どうしようかと思っていると、飼育ケースの中に白くて丸い小さいものが数個…。なんだろう!?!とネットで調べてみると、どうやらカブトムシの卵と判明!! 小さい頃“サナギから成虫”へは経験があったのですが、卵からというのは経験がないので、一度育ててみようと思い、これまたネットで卵の飼育方法や、孵化について色々調べ準備開始。

卵用に飼育ケースを購入し、そちらへ卵を移しながら数をかぞえてみたところ全部で50数個…。さすがにこの数は!! と思いましたが、育てる以外の選択肢が思いつかなかったので全部育てることに。

卵は数日で孵化し小さい幼虫がたくさん。そのまま霧吹きでの湿度管理だけをして、数週間経ってから確認してみるとびっくりするぐらい大きい幼虫とフンの数が…。

カブトムシの幼虫を育てていると、否が応でもフンが大量に出てきます。それはそれはもう、大量にできます。

そんな大量のフンの掃除をしながら、カブトムシのフンが何かの役に立たないか、と調べてみたところ、カブトムシのフンは、植物を育てるためのいい肥料になるそうです!

オークションなどでも取引があるとも載っていました。今度出品してみようと思っています。

そんなこんなで現在も元気(?)に成長してくれていて、予定では5月頃からサナギになる準備を始めるみたいなので、成虫になるまでしっかり育てていきたいと思います。

しかし、こんな私を見て嫁や娘は少し引いていました。

